

| | | |
|---------------------------|-------------------|--|
| えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬 | 会 報 第 32 号 | 2004年3月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：西原 一誠 |
|---------------------------|-------------------|--|

1. 活動報告（事務局 記）

2月28日（土）こどもエコクラブ活動発表会、サポータ養成講座 参加5名

3月7日（日）雪のなか参集頂いた16名の皆様、保守作業ご苦労様でした。里山自然観察隊の諸行事の説明会、16年度の活動予定検討をして戴き何とか方針が見えて来ました。エコアップの一環としての外来種木々を除去し、新しい植栽場所が空きました。次期参集日に近隣の低木樹の植栽をしたいと思います。

3月9日 竹炭用ドラム缶式炭窯 北村会員寄贈のため、ビオトープへ運搬しました。

3月21日（日）サギ草の球根植栽、水田よけじ排水孔の交換、水車の洗浄、竹炭用窯の仕上げ、蓮田の外来種松葉藻除去、除草スゲの処理等沢山作業を効果的に行いました

2. 今後の予定（事務局 記）

見学者

現在予定がありません。

行事

4月4日 平成16年度総会

4月17日 参集日草刈り、（自然観察隊食べられる野草準備、（餅つき、天婦羅））

同午後平成16年度里山自然観察隊発会式及第一回観察隊食べられる野草観察

3. ビオトープ関連（ビオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝

ウコギ科の木の芽3種（タラノキ、タカノツメ、コシアブラ）

春の山菜、それも天ぷらといえはタラの芽がまず第一に思い浮かびます。それだけタラノキの芽は山菜としてポピュラーと言えますが、その他に意外と知られていない木の芽が2種あります。

それがタカノツメとコシアブラです。その他にもウドやハリギリなど、天ぷら向きのウコギ科の植物はいろいろあります。ウコギ科特有の芳香成分を含有したオイル分が天ぷら向きの山菜といわれるゆえんなのでしょう。しかし、今回紹介する3種以外は、この周辺ではあまり見かけません。タカノツメとコシアブラは昭和山のコースにぼつぼつと生えています。タラノキが、伐採跡地のように明るい場所に群生するのに比べると、やや明るい林縁を好んで生えるようです。

タカノツメは、その芽が鷹の爪状であることから名づけられました。コシアブラは「漉し油」という意味で、樹脂を漉して金漆（ゴンゼツ）というウルシのような塗料をつくり、鉄のサビ止めにしたことによります。ゴンゼツという別名でも呼ばれています。タカノツメは小葉が3枚、コシアブラは小葉が手のひら状に5枚、タラノキは多数の小葉が付く羽状複葉です。いずれも頂芽を山菜として用いますが、特にタラノキは2番芽以降を摘まれるとその木は枯れてしまうので、山菜を利用する時はその生態をよく知った上で、適度な利用を心がけたいものです。



タカノツメ (芽と葉)

タラノキ (芽)

コシアブラ (葉)

4. ピオトープ関連 (連載ピオトープ近辺の案内) 事務局 原田満洲夫 車地八景のその7 (日吉の晴嵐)

今までに車地八景のうち六景を申し上げてきた残り二景の日吉について場所は現在の二俣瀬小学校から日吉神社の間を抜けて行くと車地市の原一帯の水源である駒瀬ヶ堤が4堤ある(以前は5つ)晴嵐とは晴天の日たち上る山気で春から初夏にかけてこの堤の水蒸気が霞となってそれは美しい。幸い今からが季節であり参集日午後でも一番上の堤まで足を伸ばされたいかがでしょうか。山の山菜も有り、三つ葉つつじのピンクの花ありで心和むのではないのでしょうか。

5. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

2月24日 日曜日久しぶりに雨が降ったので椎茸を見に行きました。早い一本の木に5個の椎茸が出ていたので持ち帰り干します。三月の作業にもって行きます。 原田賢治
3月の第一日曜日に乾燥椎茸を持ってこられました。どなたか町の人が頂かれたようです。

2月24日 暖かい日が多くなったので久しぶりに来ました。カエルの卵や、元気良く泳ぎ回るメダカやおたまじゃくしを見て、もう春は 間近だと感じました。3月に又来てみようと思いました。山の斜面に新しい植樹されたようなのですが何の木を植えたのでしょうか? 下関市 H、O
つくる会で植えたのではなく個人的に榊を植樹されました。

3月15日 はじめてきて見ました。なかなか良く整備されています。 宇部市在住

3月19日 風は冷たい日でしたが春をいっぱい見つけました。ありがとうございました。 不明

3月21日 今日は参集日、会員の皆様はそれぞれのグループに分かれて作業です。まだ風は冷たいのですが、ふきのとうが出ていたり猫柳が芽吹いたり、おたまじゃくしが卵からかえっていたりで春の訪れを感じます。今日は豆の種のようなサギ草の球根を湿地に播きました。そしてその上から水コケをかぶせました。花が咲くのが楽しみです。 N

6、会よりの連絡事項

- 1) 「里山自然観察隊」を募集していましたが、3月21日現在で隊員24名、シニア4名、ジュニア4名、ご父母会員を合わせると50名を超えることとなります。会員の皆様には講師、指導員としてやりがいのある活動と思いますのでどしどしの参加をお願いします。
- 2) 総会のご案内：すでに会員全員に書面をもって配布いたしましたが、4月4日9時より平成16年度総会が開かれます。平成15年度の反省を含め新しい活動方向を決めなければなりませんので必ず会員の方の出席をお願いいたします。どうしても出席できない方は事務局まで議事委任の連絡をお願いいたします。又年会費を徴収いたします
- 3) 会員消息
 - 2月12日 今井会長 ご母堂ご逝去
 - 2月22日 原 副会長 小野田労災病院に入院
 - 3月 6日 吉本正会員 ご母堂ご逝去
 - 3月22日 藤村会員 宇部中央病院に入院

7．編集後記

“継続は力なり” なんと云いますが、この会報も既に32号となりました。なるほど継続は力かも知れませんが、ただのんびんだらりと継続していたのでは力にならず。継続の中で少しでも改善、改良が加わって継続の意義があると思います。会報もこのあたりで写真入、アニメ入り等改善していけばと思っていますところでは。
(原田 満洲夫 記)